

令和2年度

自己評価表

学校法人 愛知理容学園
アリアーレビューティール専門学校

1. 学校の教育目標

- 礼儀正しい人材の育成
- スペシャリストとしての即戦力となる人材の育成
- 就職、各種検定の全員合格

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 国家試験100%合格の継続
- 競技大会上位入賞
- 接遇マナー習慣づけ
- 清掃・整理整頓

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・教育人材像は定められているか	4
学校における職業教育の特色は何か	4
社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

- 本校の目的は、アリアーレビューティール専門学校学則および学校法人 愛知理容学園寄付行為に「教育基本法に則り学校教育法並びに理容師法、美容師法に基づき、理容師・美容師の養成に関する教育を施すことを目的とする。」と明確に定めている。
- 上記の目的に沿って、教育理念・教育方針（建学の精神）は、次のように明確に定めている。
 1. 私達は社会の一員として広い視野と教養をもって「人間の美を創る」ことにつとめます。
 2. 私達は常に一層高い技術と洗練された感覚をもって文化と公衆衛生の向上につとめます。
 3. 私達は和をもって団結し、真と善をもって人に接し、平素の修養を怠りません。

- 具体的な養成しようとする人物像は、理容科では、
 1. 一生涯理容師として活躍できるよう技術だけでなく強い意思
 2. 如何なる仕事でも工夫して良い仕事にしていく気持ち・考え方
 3. 常に向上心を持つこと
 美容科では、
 1. 多くのお客様に支えられる美容師としての人格形成
 2. 生涯を通じて土台となる基礎技術の習得
 3. 国家試験を全員取得し、サロンの即戦力となる力をつける
と定めている。
- 学校の理念等は入学者説明会等入学前から周知するように努めているが、毎年度の学校教育目標・経営方針（教職員の姿勢、指導の姿勢、具体的な手立て等）が毎年同じか不明確で社会のニーズをとらえきれていない。（（3）教育活動にて来期の理容科・美容科・トータル科の施政方針はうたう。）
- 毎日朝礼でスローガン「全学一体 一致団結」及び「三者一体 物事を判断するときに、学生・学校・職員の三者にとって良い事かを考える。」を唱和している。

（2）学校運営

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
目標等に沿った運営方針が策定されているか	3
運営方針に沿った事業計画が制定されているか	2
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2
人事、給与に関する規定等は整備されているのか	2
教務・財務等の組織整備等意思決定システムは整備されているか	2
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

- 平成 30 年 4 月 1 日付で就業規則を改正し、各種諸規程で今まで以上の整備を行ったが、まだ業務内容・実績等による人物評価、賞与・昇給に反映させる基準、任せる業務の難易度を人事担当者がどう把握するか等、明確になっていない。同様に、組織体制の強化および業務分担や決定権限の範囲を明確に盛り込み、学内ルールの規程等による明文化が完全とは言えない。令和 3 年 1 月より再構築中。

- 令和元年12月14日及び令和2年4月1日に改正私立学校法が施行され、役員に対する報酬、第三者に対する損害賠償責任等寄付行為の改正を行い、情報の公表をする。また予算及び事業計画並びに事業に関する中期的な計画の作成が義務化され、短期・中期・長期計画の作成準備に入る。(中期計画まではHP上で公開)
- コンプライアンス体制については外部有識者による委員会を整備し、全教職員は職務に係る倫理を自覚し、学生、卒業生、保護者並びに地域社会から信頼と尊敬を得るために自律的に行動することを目的として、この行動規範を定めコンプライアンス宣言を行いホームページ上で公開している。
- 日々の教育活動については、月曜日～金曜日まで学校HPにおいてブログ・FBを活用して情報公開をしている。また年2回学園新聞を発行し、保護者・地域住民・高等学校等へ配布している。(前年同様) インスタグラムに関しては、週明け及び週末に読まれる傾向があり、毎週月曜日と金曜日に発信している。
- 機器等のメンテナンスシステム以前に、通常の学びの中での業務の効率化を図ろうとする意識があまり高くない。昔と同じ感覚・やり方に陥っており、何かを改善しようとする意識をもっと高めたいと思う。自らの改善策(案)が目に見えるようにしていきたい。自らがもっと生産性を上げようとし、それが数字で表れるようにしていく。
- 職員会議の効率化を図るため、議題内容、議題の目的、所要時間を明確にしてから取り組むよう、検討する。

(3) 教育活動

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連帯により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連帯によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	4

資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

- （理容科）本年度（令和 2 年度）の目標計画プラス相モデルでの授業の増加、実習授業内容の増加を図り、学生の満足度を上げた。今年の実験を踏まえ、令和 3 年度の教育目標（具体的に養成しようとする人物像）は、
 - ・理容師として、様々なものに興味を持てる好奇心ある技術者
 - ・細かい所にも気遣いができる発見力のある技術者
 - ・様々な実習を行い、サロンの即戦力となる実践力のある技術者とする。
- （美容科）本年度（令和 2 年度）はコロナ禍で、特に入学生に関して、スタートダッシュができなかったが、モチベーションアップ・コミュニケーションの場として 10 月 12 日に庄内緑地公園でバーベキュー大会を開催、また通信生の実習授業の遅れは、動画配信（YouTube）等で対応し、自宅練習をさせた。令和 3 年度の教育目標（具体的に養成しようとする人物像）は、
 - ・多くのお客さまに支えられる美容師としての人格形成
 - ・生涯を通じて土台となる基礎技術の習得
 - ・幅広い技術を学び、時代の変化に対応する発想力を培うとする。
- （トータル科）令和 3 年度の教育目標（具体的に養成しようとする人物像）は、
 - ・ヘアメイク、ネイル、エステに関するトータルの知識・技術を身に付け海外中心に儀容業界で活躍できる人財
 - ・技術力とコミュニケーション力を兼ね備えた人財
 - ・「喜ばれる喜び」を持って、自利利他の精神で社会貢献できる人財
- 職業実践専門課程（平成 28 年度認定学科分）のフォローアップ（監査）が行われ、引き続き認定校として認められた。
- コロナ禍の中で、学校行事は大きく影響し、スポーツ大会、学生ヘアショー、修学旅行、海外研修、学生技術大会が中止。5 月 19 日より学校再開をし、行事等の見直しで授業

時数を確保したが、学生の学習習熟度に格差の傾向や意欲について変化や影響が大きく見られることはなかった。

- 授業計画書（シラバス）は、授業科目を履修しようとする学生が主に利用するものであり、今まで以上に具体的かつ明確に記載した。（授業の方法「講義、演習、実習、実験の別」、授業の内容「授業科目の概要」、年間の授業の計画「授業回数やスケジュール」、到達目標、成績評価の方法・基準等）
- 学校教育とサロン教育のギャップを埋めるために企業連携をしている。
- 社会の複雑化で教員の仕事が増え、個々の教職員だけでは解決できない問題が増え、学校が抱える課題の解決に役立てようと、講師を招いた研修の機会を設けようと計画。学校法人 菊武学園 菊華高等学校 生徒指導部長 早川 誠人先生をお招きし「生徒指導における生徒理解と対応について」講義いただく。指導面だけでなく、先生方の資質、能力を高めるための働き方の見直しについても言及される。
- 名古屋美容協議会主催の在宅高齢者訪問 理美容サービス事業講習会に参加。超高齢社会を迎える中で、訪問理美容サービス技術の研修会に参加。令和 3 年度より学生には介護や介助に関する知識や技術を学び、さらに介護事業所や生活支援施設での校外学習で経験が積めるようにしていく予定。
- 授業内教職員研修は実施しているものの、その効果測定は実施できていない。有効な研修であったのか、費用対効果の検証も必要に感じる。（28 年から同じ）また、人事評価をしてから研修及び研修評価につなげる（あなたは、これできていないからこの研修等）ことはしていない。教職員の能力評価を学校経営の中でやっていない。（令和 3 年度中に構築）
- 実務者を育てているのに国家試験や技術大会が気になるようになってしまっている。
- 教育の健全化がなされているから、職業実践専門課程認定校に選ばれていると考えてもよいのではないかと思う。

（４）学修成果

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	2
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

- 日本理容美容教育センターより、平成 30 年度より産学連携推進モデル事業として、養成施設（学校）と業界団体（組合）との連携を深めることにより、卒業生の受け入れ及び理美容所の労働環境の整備等、産学連携を助長し、理美容所（産）と理容美容教育（学）との連携促進をより一層深めることを目的とした事業が始まっており、「産学連携就職情報交換事業」の求人票が県生衛組合より東海地区理容美容学校協議会を通じて届けられ、学内で公表（掲示）している。
- 卒業の認定に係る方針は、少なくとも、学生が身に付けるべき資質・能力の目標が明確になるように定め、「何ができるようになるか」に重点を置き、どのような学修成果を挙げれば卒業を認定できるかを具体的に示している。（パンフレット、HP に掲載している。）

（5）学生支援

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

- 職業実践専門課程 認定校として高校、産業界との連携は他校以上に図ってきたが、文部科学省が本格的に高校、専門学校との連携強化に乗り出し、一貫教育プログラムの策定に乗り出すことになり、2021 年度に実証事業をスタートさせます。アリアーレも実証事業の内容に基づき、今まで以上に高校側と協力してカリキュラムや共通の学習目標を開発していくことが大事だと考えている。
- 2022 年度から始まる予定の高等学校普通科改革の中でも、大学や自治体、企業と連携、地域や社会の未来を担う人材育成がうたわれています。新学科の名称、教育方針、特色の内容を今秋までに公表されるので教育方針や授業内容によっては何らかの働きかけをしていったらどうかと考える。

- コロナ禍で就職活動にも変化があり、インターン研修中止に伴い、職場見学・企業訪問・企業との接点に影響が出た。(企業とのコミュニケーション不足) 県内企業の募集状況と採用スケジュール自体には大きな変化は見られなかったが、web 面接・オンライン面接の導入等、面接の実施形態についてコロナ禍を機に多くの企業が導入しており、今後の採用方法がどのようになるのか注視したい。(求人数や採用スケジュールの不安) 学生と企業 mismatches を防ぎたい。
- 低所得者向けに学校独自の経済的支援として、学費延納制度や入学時 0 円サポートを実施しています。またスタート初年度(2020年4月)より、高等教育の修学支援新制度(無償化)の対象校になることができた。
- 雇用保険 教育訓練給付金制度の利用者が多くなり、書類準備に時間を要するが個別対応の充実を図ることができている。(前年同様)
- 国策として、日本の魅力を世界へ発信するクールジャパン戦略が推進され、日本のコンテンツ等に対する外国からの関心が高まっていることを受け、31年度は外国人留学生の学校見学が増えた。(詳細は(12)) それにより日本での就職を希望する留学生がいるが、美容分野として本邦で働くには、海外展開を予定する化粧品会社における海外進出準備のための企画・マネジメントに従事、またはヘアウイッグやヘアエクステンション等の商品開発及び営業販売の業務に従事する等に限られるため、入学を希望する外国籍の学生に対しては、日本で培った理美容技術を活かし、母国に戻って活躍できることを目標としている。名古屋入国管理局留学・研修審査部門より「在籍管理が適切に行われていると認められる専修学校専門課程」として引き続き選定されています。(母国への帰還等の確認をして入学を許可しています。また、個別面談(半年毎に1度)を実施し、生活状況等を確認している。)
- 質保証機構委託ポートレート事業「職業実践専門課程に相応しいポートレートシステムの要件定義」に参加し、利用者目線に沿って、学修に必要な情報を効率的に入手することができ、かつ、職業教育の国際通用性にも配慮したデータベースシステムの開発に協力。情報公開の見える化に関するサポートに取り組む。

(6) 教育環境

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	3

- 海外研修については、新型コロナウイルスの関係で中止・延期になった。(2年連続)

- 留学生も新たに入学されたこともあり、9月の防災の日に昼間生全員で千種区防災マップに基づき、指定緊急避難場所（千石小学校）まで行き、確認する。

(7) 学生の受け入れ募集

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学生募集活動は、適切に行われているか	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
学納金は妥当なものとなっているか	2

- 外国人留学生を対象とした新科「トータルプログラム科」の届出を5月28日に、認可を9月22日付で愛知県よりいただき募集をする。令和2年10月31日時点ですが、日本語学校19校52名の来校（学校説明）、校内ガイダンスでは21校350名の外国人留学生に対応、結果入学定員20名は充足率100%になる。
- 減少する18歳人口の補填として、留学生を考えてはいるが、最近の新型コロナウイルス感染症対応のために、留学生の再入国あるいは新規入国が非常に難しくなっている。コロナ問題が解決すれば従来の状況に戻るという考えは、あまりに楽観的で、周辺諸国の動向を考慮すると以前の状態に戻らないと考えるのが妥当と思う。そこで考えるべきは社会人を対象としたリカレント教育、生涯学習であり、働くことを前提として、仕事に活かせる知識・スキル、またスキル等ではなく、趣味やボランティア等仕事に直接つながらない方も、より豊かな人生を送れるような感じで学んでいただけるような講座を検討していく必要がある。日本の高等教育機関で学び直しを行う社会人の割合は低く、サロン等企业内教育訓練も企業側にそれだけの余力がない。
- 令和2年1月～令和2年12月の1年間のオープンキャンパス参加者は131名で前年より72名減。新規3年生参加者は32名で、その参加者からの出願割合は81%（例年50%ぐらい）。1年生・2年生の参加者数が大変少なく、令和4年4月入学者に向けて何らかの募集戦略が必要。
- 学納金に関して、再検討を図る。（令和3年中に。）
- 4月・5月の新型コロナによる緊急事態宣言を受け、来校型オープンキャンパスにプラス、オンラインでの学校説明も用意、対応する。件数としては多くはないが青森県や北海道等今までに問い合わせ等がまったくなかった地域からも予約があり、ニーズや可能性は少し感じる。費用対効果が問題になるかと思う。
- 教育成果に関しては在学中の資格等成果だけでなく、卒業後の学修成果（在学中の学びが就職後どのように活かされているか）を令和元年度文部科学省 職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業「学修成果の測定に向けた職業分野別コンピテンシー体系の研究」（一般社団法人 専門職高等教育質保証機構受諾）に参加し、そ

の指標に基づく教育を目指している。その指標を2021年4月生向けパンフレットにも掲載し募集活動に生かす体制を整えた。(2022年向けパンフレットも同様)

- 募集広報の検証・改善(現状と課題)のために入学者調査をしている。質問項目として、
・入学者の特徴(学習や仕事に対する意欲、自己評価・自己肯定感、職業決定度)、
・伝わった「学校の価値」(価値評価、個別施策評価)、
・入学までのプロセス(認知ルート、メディア、接触パターン)、
・競合状況(各校への接触状況、最も入学を意識した学校、自校と競合校の「価値」の違い)。(前年掲載)入学者調査より入学しなかった調査が必要と考えている。(2019年分よりHP上で公表。卒業生調査同様。)
- 「個別の入学資格審査」制度(中学校卒業生または高校中退者等の専門課程入学)が以前からありましたが、ほとんど活かしきれていませんでした。2021年4月入学生募集に関してはきちんと制度化し、中卒の方も通信課程だけでなく、専門課程にも誘導できるように取り組んでいくようにする。(令和2年度は1件問い合わせあり。)
- 保護者としては高等教育無償化が一番わかりやすい情報であるので、しっかり告知する必要がある。

(8) 財務

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
財務について会計監査が適切に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

- 有期雇用労働者、短時間労働者といった、非正規雇用労働者の企業内でのキャリアアップを促進するため、正社員化、処遇改善の取り組みを実施。雇用保険の「キャリアアップ助成金制度」を活用する。
- 経費削減を図る一方で設備の充実と教育の強化を図りバランスをとっている。27年度自己評価にて、少子化問題、老朽化してくる施設、設備、教育上の必要性に十分対応ができるのか、また学生納付金収入に著しく偏った現在の経営では、学校運営が厳しくなることが予想され、収益事業の方向性を検討課題としたが、ずっと何ら進展しなかった。減り続ける18歳人口のみを実質的な市場としている以上、中長期的に財務が安定とは断言できない。(前年同様)
- 外部の会計事務所より月一回会計士指導を受けながら適正な会計処理を行っている。また、法人監査についても法人監事により年三回適正に行われているが、契約金額の妥当性について理事会での審議対象が不完全で、効率的かつ効果的な予算執行の観点から十分な検討が行われているとはいいがたい面がある。

- 数年来、理容科・美容科及び昼間課程・通信課程ごとの目標及び実績の細分化をし、教職員に当事者意識もってもらうように行ってきましたが、全体的なお金の動きの確認が中心であった。もっと計画したカリキュラム時間数(カット時間数やワインディング時間数)を厳守し、それに対応する教職員名、かかる講師給等数値の把握をしないと、ムダ・ムラの把握ができず、結果的に教育の生産性が上がらない。2年間で国家試験は時代遅れであり、すぐに卒業後活躍できるようにしないと教育生産性は本人側も学校側も上がらない。教育の生産性を職業教育に入れないといけない。(短い時間で)
- 経営の健全化が高等教育の無償化対象校につながっているのだが、その実感はない。
- 019年10月の消費税率改正に伴う本校の費用負担増に際し、具体的な対応が明確にできていない部分がある。2020年10月通信生向けの諸費用を一部改正する。

(9) 法令等の厳守

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2
自己評価結果を公開しているか	4

- 令和2年4月1日施行の改正私立学校法に対する寄付行為等の整備を行う。主な改正事項としては、学校法人の責務の新設(運営基盤の強化、教育の質の向上及び運営の透明性の確保)、管理運営制度の改善(役員に対する利益供与の禁止、報酬等支給の基準、役員の学校法人に対する損害賠償、連帯責任)、学校法人の運営の透明性の向上(寄付行為の備え置き及び閲覧等)、事業に関する中期的な計画等の作成。
- 個人情報の取り扱いに関して、学校HP上等で学生たちの活動の様子である写真や作文を掲載することがあります。これらはその都度、公表について各家庭の意思確認はとっていません。掲載や公表を控えてほしい際は、申し出ていただくよう、入学前保護者会や学園新聞でお願いしている。
- 自己評価の実施からどのような意見をどう受け止め、さらにどのように対処したかということが今一つできていない。改善したことを示さなければ教職員も意見を言わなくなる。そこで改善が止まってしまっている面がある。
- 教員の組織体制、学内ルールの整備や明文化が必要。

(10) 社会貢献・地域貢献

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

- 11月13日、社会福祉法人 AJU 自立の家（名古屋市昭和区）さまにお越しいただき、障がい者目線で日常の暮らしや福祉サービスについての講演会を開催する。（職員の方と車いす障がい者の方2名で来校。）また、当施設での介助スタッフも募集され、学校も学生にボランティア活動や取得を推奨する。（チラシ）
- 地域と協働する専門学校を目指し、社会貢献プロジェクトとして、福祉ボランティア28年9月より月1回、春日井市の障がい者施設へ卒業生とともに慰問（卒業生やサロンスタッフによるカット施術、在校生は清掃等）を行っている。在校生は今までは希望者のみの参加だが、全員卒業までに一度は参画できるような仕組みに変更した。また逆に障がい者施設の方が学校に来てもらい現場の様子を伝えていただいている。
- 地域連携プロジェクトと称し、名古屋市および周辺地域の企業、団体との連携協力を維持・発展させ、アリアーレの特性を生かした社会貢献を行い、地域の要望に応えるよう努めているが今年度は実施できず。（献血のみ）

(11) 国際交流

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4
留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3
留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4

- 留学生が入学するには原則として満18歳以上の、母国等において12年間の学校教育を修了した者で、且つ日本の法務省による在留審査を経て留学の在留資格を得ることが前提としている。
- グローバル化に対応した人材養成のため、日本語教育機関等と連携をしながら、当校における留学生受入れに関する質的・量的充実に向けた努力をしている。令和3年4月入学の留学生の内訳は日本語学校数12校27名（美容科3名、トータル24名）で4月スタートの新科（トータルプログラム科）は、定員20名がいっぱいになる。（令和2年

4月入学生の日本語学校数は3校9名。)出身国数が増え、一層、各国の事情を把握することが重要になる。(新科24名の出身国はネパール10名、ベトナム9名、スリランカ3名、中国1名、ミャンマー1名)

- 日本の理容・美容の高い理想・文化・技術の海外への移転と普及による国際貢献、海外への日本文化の浸透、クールジャパン人材の受け入れに貢献できるよう努力する。